

0歳11カ月 はじめてベッドから落っこちちゃったよ

さて3月。春を待つ歌を歌いながら、まだまだ朝晩は寒い毎日です。
子どもは、いたずらもしながら家の中で元気に動き回っています。

- ・ こわい時やいやな時に口をへの字にするように
- ・ いつもお座りで機嫌よく遊んでいる
- ・ 遊び→部屋の探索
- ・ 身近なプラスチックに夢中
- ・ 空き容器（豆腐、ヨーグルトなど）や日用品（ハンドクリーム、めがねケースなど）をさわったりかじったり

ある日、ベビーベッドからの転落事故が起きました。

原因は、完全に私の不注意です。

ありえないことに、柵を下げた状態で、子どもをベビーベッドのふちに座らせていたのです。

とっさのことで、なぜそんな事をしたのか自分でもわかりません。

うっかりとしか言いようがありません。

だんだん子どもの体がしっかりしてきて、「短時間なら大丈夫だよね」という謎の思い込みがあったようにも思います。

ほんの数秒後に、子どもは頭から落ちました。

激しく泣いて、やがて泣き止み、いつも通りに遊び始めました。

私はパニックです。

どうしようどうしようと頭に血がのぼりつつ、最終的には救急担当の病院（脳神経外科）を受診し、今のところは様子見でOKとのことで帰り、その後よくよく観察しましたが、数週間経っても特に変わったことも起きず、ようやく胸をなでおろしました。

ただ、そこに至るまでには、あわててあちこち電話しました。

まずはウェブサイト「こどもの救急」でチェック。何度画面を進んでも「おうちで様子を見ましょう」という結果です。

大丈夫なのか・・・と、どうしても不安なので、病院で診てもらいたいと思いました。

↓

#8000（子ども医療電話相談）に電話するとずっと話し中。なぜつながらないの！？と、ここでさらにパニックに・・・

※平日の受付は19時から翌朝8時の夜間のみ。昼間は不通だと知りませんでした。よく見ると、手元のチラシにも確かに受付時間が書いてあるのに、24時間対応だとばかり、勘違いをしていました。

↓

かかりつけ小児科は時間外で電話不通

↓

「子育て応援ガイドブック」（パンダの表紙）を見て窓口に電話。やさしく話を聞いていただき、アドバイスも伺う

※後から「どうなりました？」「大丈夫？」とフォローの電話もいただきました。ありがたいことです。

↓

診療時間中の小児科に電話すると、救急の受診を勧められる

↓

「広報いまばり」の「救急病院」を見て当直の病院に電話すると、状況を聞き取った上で今から来て下さいとのこと

↓

あわてて家を出る

↓

受診

先輩ママに「何かあった時の受診先はあらかじめチェックしていつでも見れるように手元に置いとくといいよ」と聞いていたので、準備はしていたはずなのに、

本当にあわててしまいました。とてもこわかったです。

事故を起こしてしまったことについて、いつも気をつけていたのになぜ？と繰り返し思い、自分を責めました。

事故が起きるのは一瞬の出来事だと、思い知りました。

これを機に、子どもを守るには常に安全を確保しなくてはと気持ちを引き締め、以降はことあるごとに「危険がないか確認してからにしよう」と考えるようになりました。

つかれて「ちょっとひと休み」という時も、子どもの身の安全だけは注意しながら休む、というように変わりました。

逆に言うと、そこが大丈夫なら、子どものそばで適宜休憩するということもできるようになり、かえって楽になりました。

0歳育児はいつもハラハラして、気がぬけないので、時々つかれはてしてしまうのです。

子どもも1歳が近くなり、生まれたての頃に比べるとずいぶん大きくなったので、親も多少は成長し、少しは息抜きしながら暮らせるようになったということなのかもしれません。

また、うっかり事故を防ぐには、親自身の健康もとても大事です。親がきちんと休養を取ることで、子どもの事故がより起きにくくなるだけでなく、親子の時間も、もっと楽しくなるのではと思います。

さて、このコラムも今回でまる1年…。やさしい関係者の方々に支えていただき何とかかんとかここまで来ました。

来年度からあと1年、つづきます。新年度で心機一転！今までと趣向を変えてみる予定です。

月に1度のほんのひとときですが、これからもおつきあいいただけましたら、うれしいです。どうかよろしく願いいたします。

ではまた来月・・・。

最後までお読みくださり、ありがとうございました！